

2 MICE推進のための国立京都国際会館における5,000人規模の多目的ホールの整備

(財務省・国土交通省・観光庁)

国立京都国際会館は、昭和41年に我が国最初の国際会議場として設置されて以来、数多くの国際会議の成功を支えてきました。

しかしながら、近年、国際会議の規模の大型化・形態の多様化の傾向が顕著となり、会議の開催に当たり、大型会議場、ワーキングスペース及び展示・広報等のスペースを備えた多目的な施設であることが求められています。スペース不足のために他国開催となった例も多く、開館から40年以上を経た当会館の施設規模及び機能は、十分であるとは言えない状況にあります。

シンガポール、中国等のアジア諸国をはじめ世界各国では、こうした会議の大型化・多様化に対応できる施設が整備されており、5,000人規模が世界のスタンダードです。

国におかれましても、平成22年度以降、国立京都国際会館の拡充に係る調査を実施されているところです。京都は日本文化を世界に発信するのに最もふさわしい都市であり、我が国のMICE誘致促進の観点から、国立京都国際会館の拡充を図ることは、極めて有効な方策であります。そこで、基本設計の着手など早期整備に向けた進捗が図られるよう、次のとおり提案します。

提案事項

大規模国際会議をはじめとするMICE推進のための、国立京都国際会館への5,000人規模の多目的ホールの早期整備

京都市・京都府共同提案

所管の省庁課：財務省（理財局国有財産業務課） 国土交通省（大臣官房官庁営繕部計画課）
観光庁（観光資源課）

京都市の担当課：総合企画局 国際化推進室 担当課長 山田真 TEL 075-222-3072

産業観光局 観光MICE推進室 担当部長 柿沼宏明 TEL 075-222-4130

産業観光局 観光MICE推進室 観光おもてなし課長 砂川敬 TEL 075-222-4130

現 状

◆ 国内外の主要な国際会議場の状況

国名	会議場名	大会議場 収容人数
日本	国立横浜会議場（パシフィコ横浜）	5,000名
日本	東京国際フォーラム	5,000名
韓国	コエックス会議・展示センター(ソウル)	7,000名
中国	香港会議・展示センター	8,000名
シンガポール	シンガポール国際会議・展示場	12,000名
オーストラリア	メルボルン国際会議場	5,000名
ドイツ	ベルリン国際会議センター	5,008名
イギリス	アールズコートアンドオリンピア	22,000名
アメリカ	ワシントン州立会議センター	7,500名

国立京都国際会館（S41年～）



外観



大会議場（1,840名収容）

○ 世界を代表する国際会議場の大会議場は、最低約 3,500～5,000 名収容可

課 題

◆ 国立京都国際会館のスペース不足により、開催が見送られた会議の事例

年度	国際会議名	要請スペース	開催地
14	第14回世界心臓学会議	5,000人規模の会議スペース、1,000人収容のホール（3箇所） 100～200人収容の会場（10箇所）	オーストラリア
25	国際小児科学会	5,000人規模の会議スペース、12,000㎡の展示場	オーストラリア
25	国際腎臓学会	3,000人規模の会議スペース、10,000㎡の展示場	香港

多目的ホールを新たに整備することによる効果

- 国立京都国際会館のイベントホールは展示スペースとしては極めて狭い。
(3,000㎡)
⇒ 新設の多目的ホールを展示場として使用することで、展示スペース不足の改善を図ることができる。
- 国連本部などの国際会議場は中型会議場（500～1,000人収容）4室を有するが、国立京都国際会館の中型会議場は2室のみである。
⇒ 新設の多目的ホールを可動式間仕切りで4分割することにより、中型会議場4室として使用し、合計6室を確保できる。